

# JIS

F 7213

## 船用 16 K 弁付 水面計

Ⓢ JIS F 7213-1996

この規格は指定商品ではなくなりました

(2002 確認)

平成 8 年 11 月 8 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

---

主 務 大 臣：運輸大臣            制定：昭和 27.11.27    改正：平成 8.11.8

官 報 公 示：平成 8.11.21

原案作成協力者：財団法人 日本船舶標準協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 船舶部会（部会長 齋藤 隆一郎）

この規格についての意見又は質問は、運輸省海上技術安全局技術課（〒100 東京都千代田区霞が関2丁目1-3）又は工業技術院標準部機械規格課（〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。



## 船用16 K弁付水面計

F 7213-1996

## Shipbuilding—16 K water gauges with valve

1. 適用範囲 この規格は、ボイラ以外の船用压力容器に使用する温度220 °C以下の16 K弁付水面計(以下、水面計という。)について規定する。

備考 この規格の引用規格を、次に示す。

- JIS B 0207 メートル細目ねじ
- JIS B 0222 29度台形ねじ
- JIS B 2240 銅合金製管フランジ通則
- JIS B 8211 ボイラー水面形ガラス
- JIS F 7102 船舶機関部管系用ガスケット及びパッキン使用基準
- JIS F 7400 船用弁及びコックの検査通則
- JIS G 3506 硬鋼線材
- JIS G 5501 ねずみ鑄鉄品
- JIS H 3100 銅及び銅合金の板及び条
- JIS H 3250 銅及び銅合金棒
- JIS H 3260 銅及び銅合金線
- JIS H 5111 青銅鑄物

2. 構造、形状及び寸法 水面計の構造、形状及び寸法は、付図1のとおりとし、上部及び下部本体の肉厚許容差は、原則として $\begin{matrix} +15 \\ -10 \end{matrix}$  %とする。ただし、許容差の計算値が0.5 mm未満の場合は0.5 mmまで許容する。

なお、丸形水面計ガラスの寸法は、JIS B 8211の規定による。

3. 材料 水面計の材料は、次のとおりとする。

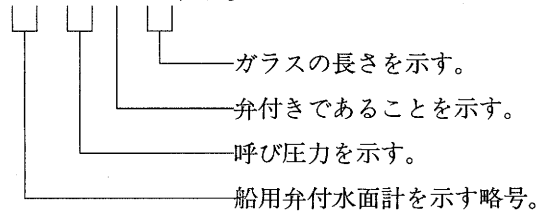
- (1) 上部本体、下部本体及び弁棒は、付図2のとおりとする。
- (2) その他の材料は、付図2によることが望ましい。

4. 検査 水面計の検査は、JIS F 7400の規定によって、次の(1)~(5)について行う。

- (1) 材料検査
- (2) 外観検査
- (3) 寸法検査
- (4) 組立検査
- (5) 水圧検査 次の試験圧力で行う。
  - (a) 本体水圧検査 2.4 MPa
  - (b) 弁座水漏れ検査 1.76 MPa

5. 製品の呼び方 水面計の呼び方は、規格の名称若しくはその略号又は規格番号及びガラスの長さによる。

例 船用16 K弁付水面計250若しくはFWG 16 V 250又はJIS F 7213-250

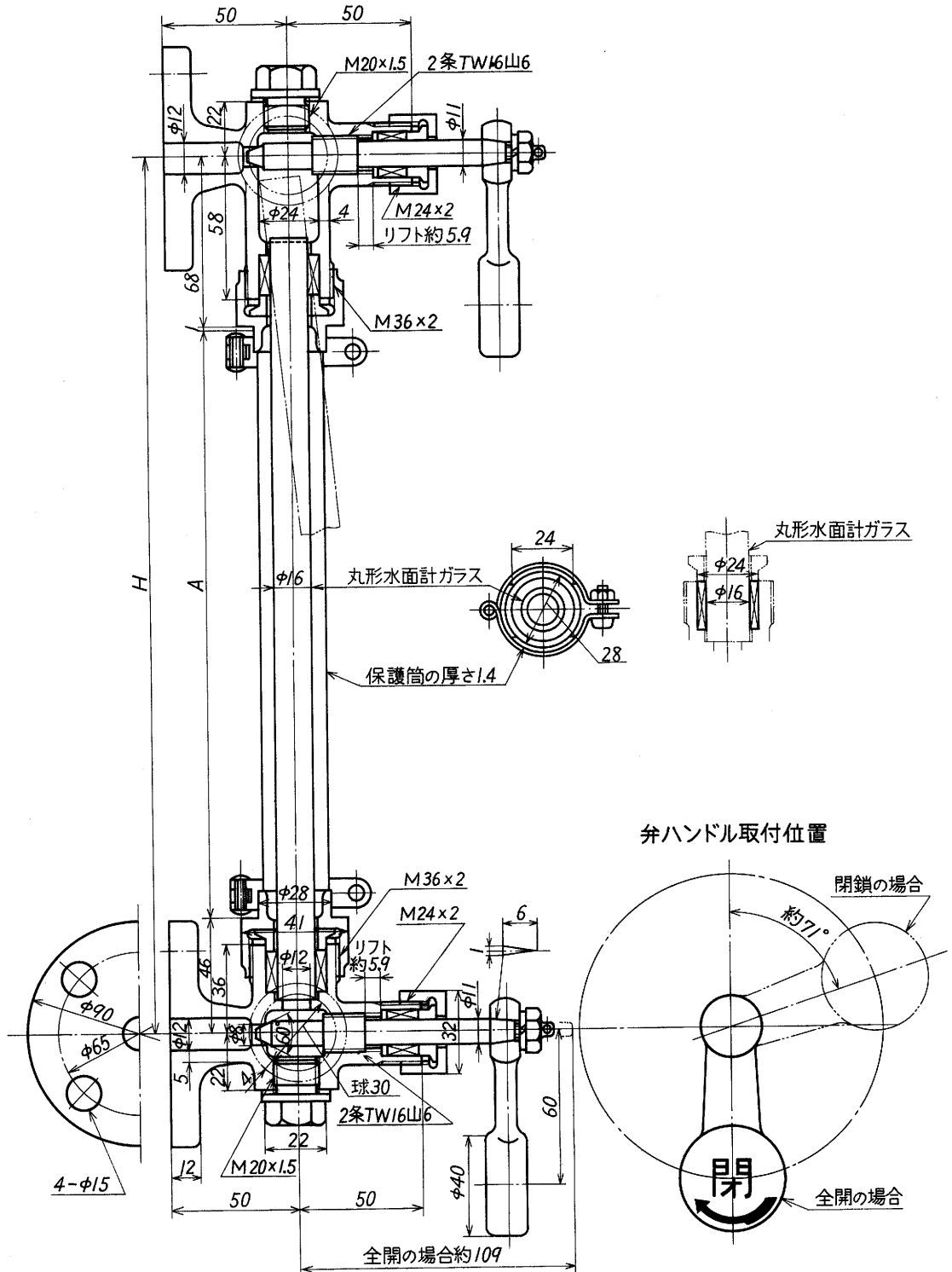


6. 表示 上部本体及び下部本体の表面に、次の事項を表示する。

- (1) 呼び圧力16 K
- (2) 製造業者名又はその略号
- (3) 製造年又はその略号

付図1

単位 mm

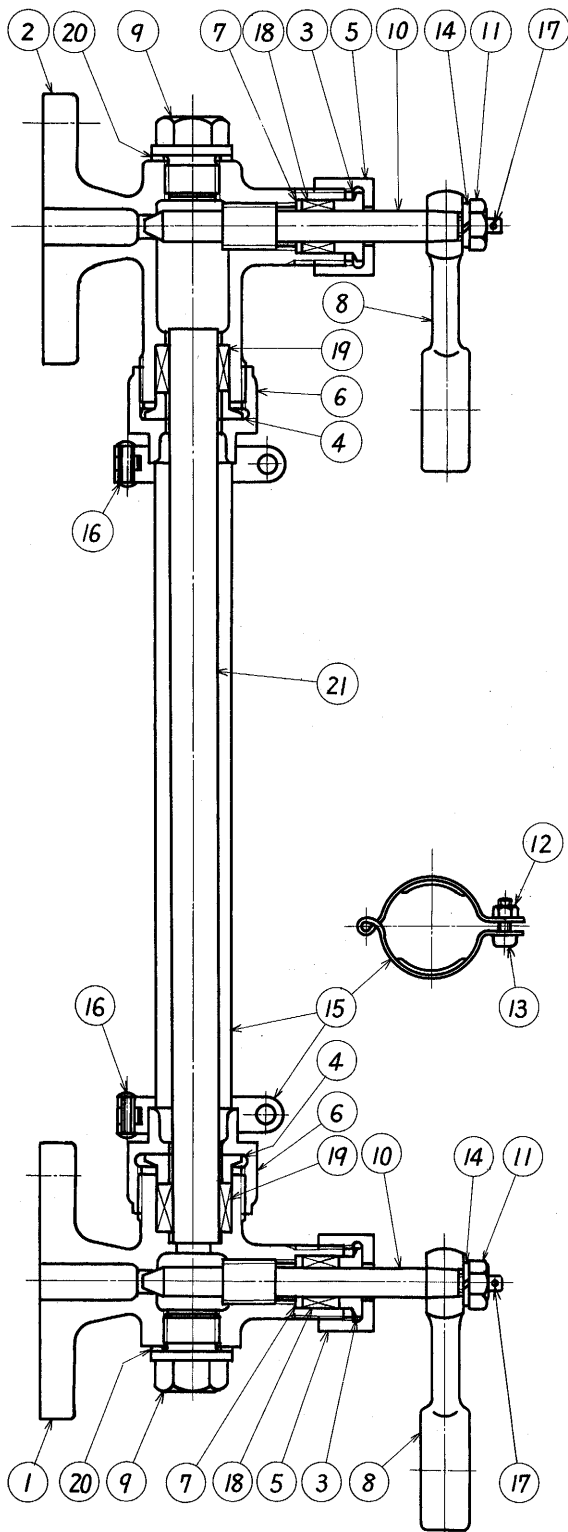


- 備考1. フランジは、JIS B 2240の規定による。  
 2. ねじは、JIS B 0207及びJIS B 0222の規定による。

寸法表

単位 mm

ガラスの長さ	保護筒の長さ A	取付寸法 H	参考 計算質量(kg)
250	180	295	3.74
300	230	345	3.78
350	280	395	3.82



付図2

部品番号	部品名称	材料
1	下部本体	JIS H 5111のBC6
2	上部本体	
3	パッキン押さえ	JIS H 5111のBC6又は JIS H 3250のC3771BD
4	パッキン押さえ	
5	パッキン押さえナット	
6	パッキン押さえナット	
7	はめ輪	
8	ハンドル	JIS G 5501のFC200
9	プラグ	JIS H 5111のBC6又は JIS H 3250のC3771BD
10	弁棒	JIS H 3250のC3771BD 又はC3771BE
11	六角ナット	JIS H 3250のC3771BD
12	六角ナット	
13	十字穴付きなべ小ねじ	JIS H 3260のC2700W
14	ばね座金	JIS G 3506のSWRH42B
15	保護筒	JIS H 3100のC2600P
16	ピン	JIS H 3260のC2600W
17	割りピン	
18	パッキン	JIS F 7102の規定による。
19	パッキン	
20	ガスケット	
21	丸形水面計ガラス	—

備考1. 部品名称で太字のもの材料は、3.(1)に規定する材料を示す。

2. 部品番号21の丸形水面計ガラスは、JIS B 8211の規定による。

JIS F 7213-1996

## 船用 16 K 弁付水面計 解説

この解説は、本体に規定した事柄、及びこれに関連した事柄を説明するもので、規格の一部ではない。

1. 規格制定の目的 従来から、船に装備する各種タンク(燃料油タンクを除く。)、ボイラを除く圧力容器などに使用される丸形水面計ガラスを用いた水面計(油面計を含む。)の形式は、多種多様で一定でなかったため、船用としての特異性に適合した形に統一することの要望が高まったので、この規格が作られた。

### 2. 制定・改正の経過及び改正の主旨

#### 2.1 制定・改正の経過

制定・改正	原案作成団体又は会社	原案担当作業委員会	日本工業標準調査会 審議専門委員会	制定・改正年月日
1952年 制定	三菱重工業株式会社 広島造船所	日本船舶工業標準協会 機関部会	船用弁専門委員会	昭和27年11月27日
(経過は、省略)				
1989年 改正	財団法人日本船舶標準協会	財団法人日本船舶標準協会 機関部会配管ぎ装品委員会 (委員長 江口 嘉昌)	船舶部会 (専門委員会の審議は省略)	平成元年6月15日
1996年 今回改正	同上	—	同上	平成8年11月8日

#### 2.2 改正の要旨

##### 2.2.1 1989年 次の改正を行った。

単位及び数値を国際単位系(SI)とし、{ }を付けて従来単位及び数値を併記した。

なお、SIの導入(第2段階)に当たっては、フランジ、継手など他の配管系機器JISとの整合を図るため、換算値方式を採用し、かつ、{ }内の数値は規格値とした。ただし、その期間は、SIが第3段階へ移行するなど前記整合の理由が解消されるまでの間とする。

##### 2.2.2 1996年(今回) SI単位の第3段階移行によって、{ }内の数値と単位を削除した。

新数値の採用によって規定値が従来単位換算値より2%増加された。呼び圧力は従来どおりの呼びを採用した。

解 1.

# 白紙



JIS規格票の正誤票が発行された場合は、下記の要領でご案内いたします。

- (1) 当協会発行の月刊誌“標準化ジャーナル”に、正・誤の内容を掲載いたします。
- (2) 毎月第3火曜日に、“日経産業新聞”及び“日刊工業新聞”のJIS発行の広告欄で、正誤票が発行されたJIS規格番号及び規格名称をお知らせいたします。

発行された正誤票をご希望の方は、下記(営業)へご連絡頂ければご送付いたします。

なお、当協会のJIS予約者の方には、予約された部門で発行された正誤票は自動的に送付されます。

---

日本工業規格

船用16K弁付水面計

定価 412円  
(本体 400円)

---

平成8年11月30日 第1刷発行

編集兼  
発行人 福原元一

発行所

財団法人日本規格協会

〒107 東京都港区赤坂4丁目1-24

電話 東京(03)3583-8071 (規格出版)

FAX 東京(03)3582-3372

電話 東京(03)3583-8002 (営業)

FAX 東京(03)3583-0462

振替口座 00160-2-195146

---

札幌支部 ㊟060 札幌市中央区北3条西3丁目1 札幌大同生命ビル内  
電話 札幌(011)261-0045 FAX 札幌(011)221-4020  
振替: 02760-7-4351

東北支部 ㊟980 仙台市青葉区本町3丁目5-22 宮城県管工事会館内  
電話 仙台(022)227-8336 (代表) FAX 仙台(022)266-0905  
振替: 02200-4-8166

名古屋支部 ㊟460 名古屋市中区栄2丁目6-12 白川ビル内  
電話 名古屋(052)221-8316 (代表) FAX 名古屋(052)203-4806  
振替: 00800-2-23283

関西支部 ㊟541 大阪市中央区本町3丁目4-10 本町野村ビル内  
電話 大阪(06)261-8086(代表) FAX 大阪(06)261-9114  
振替: 00910-2-2636

広島支部 ㊟730 広島市中区基町5-44 広島商工会議所ビル内  
電話 広島(082)221-7023,7035,7036 FAX 広島(082)223-7568  
振替: 01340-9-9479

四国支部 ㊟760 高松市寿町2丁目2-10 住友生命高松寿町ビル内  
電話 高松(0878)21-7851 FAX 高松(0878)21-3261  
振替: 01680-2-3359

福岡支部 ㊟810 福岡市中央区渡辺通り2丁目1-82 電気ビル第3別館内  
電話 福岡(092)761-4226 FAX 福岡(092)761-7466  
振替: 01790-5-21632


---

日本ハイコム 株式会社 印刷・製本

Printed in Japan

JAPANESE INDUSTRIAL STANDARD

# Shipbuilding—16 K water gauges with valve

 JIS F 7213<sup>-1996</sup>

Revised 1996-11-08

Investigated by

Japanese Industrial Standards Committee

---

Published by

Japanese Standards Association

1-24, Akasaka 4-chome, Minato-ku  
Tokyo, 107 JAPAN

Printed in Japan

定価 412 円(本体 400 円)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。